

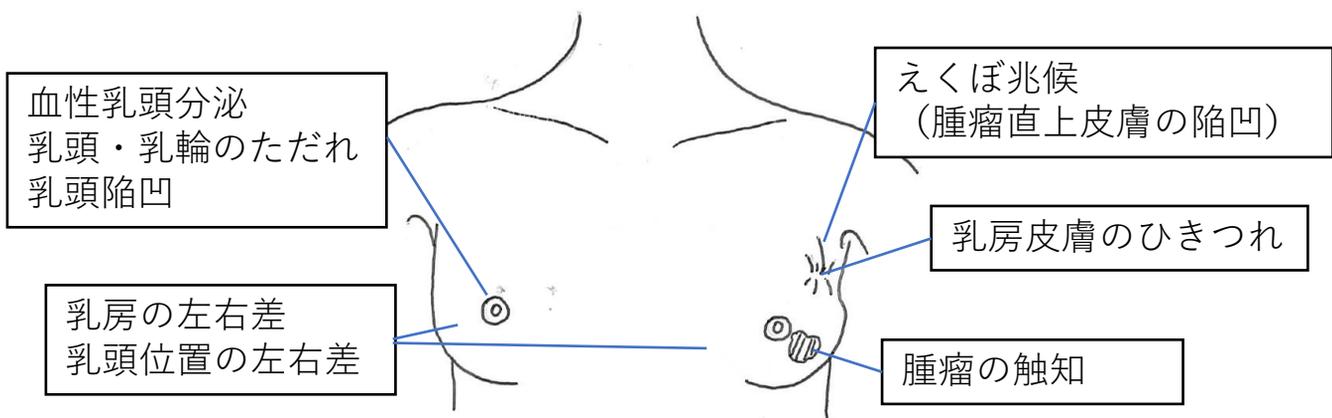
乳腺外科の紹介

日頃より産業医科大学 呼吸器・胸部外科へ多数のご紹介をいただきまして誠にありがとうございます。

当科の乳腺チームでは、乳癌をはじめ線維腺腫や葉状腫瘍、乳腺症等の良性疾患を含めた、様々な乳腺疾患に対応しています。

ご存じのとおり、乳癌は日本人女性が罹患するがんのうち最多です。乳癌罹患数は2022年予測で94,300人とされ、今や**9人に1人が乳癌**に罹患する時代です。**乳癌は早期発見で根治が目指せる疾患**であり、乳がん検診や自己触診が非常に大切です。

乳癌によく認められる所見



上記のような症状がなくとも、**がん検診などの画像検査で偶発的に見つかる**場合もあります。

当科では乳癌に関して早期から進行期まで幅広く治療を行っており、乳癌以外の乳腺良性疾患に対しても、定期的なフォローアップを行っています。

日々の臨床で悩まれる症例や乳腺に何らかの症状・所見を認める場合には、ぜひお気軽に当科へご紹介ください。

乳腺チームの紹介

乳腺チームでは、乳腺を専門とする女性医師3名が中心となって診療を行っております。

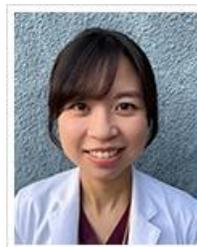
また、近年では乳腺外科を志し第2外科へ入局する若手医師も増え、ますますにぎやかになってきました。



田嶋 裕子



高 すみれ



田原 有希

乳癌治療の3本柱

手術療法

薬物療法

放射線療法

		ホルモン受容体陽性	ホルモン受容体陰性
HER2陰性	Ki-67低値	ルミナルA 内分泌療法	トリプルネガティブ 化学療法 ±免疫チェックポイント阻害薬
	Ki-67高値	ルミナルB 内分泌療法+化学療法	
HER2陽性		ルミナル-HER2 内分泌療法+化学療法 +分子標的薬	HER2 化学療法 +分子標的薬

当科では乳癌への積極的な手術加療だけではなく、薬物療法も含めた集学的治療を積極的に行っています。

乳癌における薬物療法はサブタイプ毎に様々な薬剤が適応されます。最近では、**免疫チェックポイント阻害薬（Pembrolizumab/キイトルーダ）**が新たに適用されました。これまでトリプルネガティブ乳癌の手術不能または再発乳癌のみに適応とされていましたが、2022年に再発高リスクのトリプルネガティブ乳癌での術前・術後薬物療法として保険適応となりました。

Pembrolizumab/キイトルーダについて

KEYNOTE-522試験の結果より、周術期薬物療法としてのキイトルーダは、プラセボ群と比較して無イベント生存期間（EFS）を統計学的有意に延長させることが証明されました。

トリプルネガティブ乳癌の周術期キイトルーダ適格条件

- 腫瘍径がT2（ $T \geq 2.1\text{cm}$ ）以上
- または
- 腫瘍径がT1c（ $1\text{cm} < T \leq 2.0\text{cm}$ ）かつリンパ節転移陽性

投与スケジュール

術前薬物療法
(4サイクル+4サイクル)

術後薬物療法
(9サイクル)

キイトルーダ
+パクリタキセル
+カルボプラチン

+

キイトルーダ
+ECまたはAC

→

手術

→

キイトルーダ

E:エピルビシン
C:シクロフォスファミド
A;ドキシソルビシン

当科でも適格条件に合う患者さんへのキイトルーダ導入を行っています。

ステレオガイド下マンモトーム生検

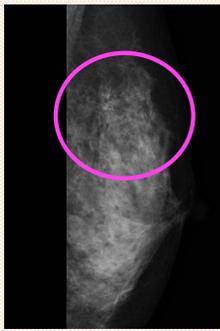
ステレオガイド下マンモトーム生検 (sMMT) は、当科でも積極的に施行している検査の一つです。

マンモグラフィ撮影下に組織を吸引・採取する生検システムであり、超音波検査では同定が難しい局在病変や、悪性の可能性がある石灰化病変に対して適応されます。

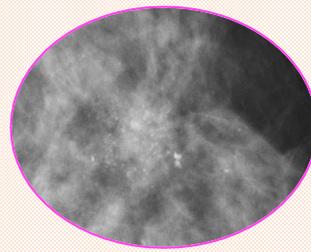
検査は局所麻酔下に行い、日帰りで実施が可能です。

ステレオガイド下マンモトーム生検

2方向のマンモグラフィ撮影により病変を確認し、コンピューター上でターゲット位置を決定します。生検針を刺入した状態で再度撮影を行い、病変部と生検針の位置を確認後、組織を吸引・採取します。



通常のマンモグラフィ撮影



スポット撮影



採取した検体

乳房再建

乳癌治療において根治性の追求はもちろんですが、近年では乳房の整容面に関しても関心が高まっています。当科では乳癌の根治性と患者さんの希望を踏まえ、自家組織やインプラントを用いた適切な再建法を提案しております。再建内容に応じて形成外科専門医との連携も密に行っています。以下に、乳房外側病変の部分切除時に用いる再建法を提示します。

乳房部分切除＋筋膜脂肪弁による乳房再建術



メリット：乳頭・乳輪の偏位を防ぐことができる

デメリット：切除乳腺量が多い場合、整容性が保ちにくい

当科外来表 2023年4月1日～

産業医科大学病院

専門分野	火曜日		木曜日	直通：093-691-7320 内線：3211
	午前	午後	午前	
	紹介 初診 再診	再診 (予約)	紹介 初診 再診	
気管 肺 縦隔 内視鏡外科 (胸腔鏡・ ロボット手術)	田中文啓 竹中 賢 金山雅俊 森 将鷹 吉松克真	橋本鉄平 田中完治	田中文啓 黒田耕志 竹中 賢 金山雅俊 森 将鷹 吉松克真	診療課長：田中文啓 副診療科長：黒田耕志 外来医長：竹中 賢 病棟医長：竹中 賢 副病棟医長：森 将鷹 医局長：黒田耕志
乳腺 胸壁	田嶋裕子 高すみれ 田原有希	田嶋裕子 高すみれ 田原有希	田嶋裕子 高すみれ 田原有希	
横隔膜		吉松克真		

産業医科大学若松病院

専門分野	火曜日	直通：093-761-0090 内線：6050 外来医長：橋本鉄平
	午前	
	紹介、初診、再診	
気管 肺 縦隔 内視鏡手術 乳腺	橋本鉄平	

[ご紹介の流れ]

通常紹介

当院医療連携室を通じて外来予約をお願いいたします

TEL：093-691-7666

緊急を要する場合

24時間365日対応可能です

当院代表から当科当番医に繋ぐようにお伝えください

TEL：093-603-1611

[当科医局員外来派遣病院]

呼吸器・胸部疾患において、下記病院外来でも当科医局員が外来紹介患者対応を致します。

済生会八幡総合病院、正和中央病院、新中間病院、大平メディカルケア病院、
戸畑総合病院、西尾病院、上曽根病院、芦屋中央病院、新小倉病院
健愛記念病院、おかがき病院、小倉南メディカルケア病院

産業医科大学病院 呼吸器・胸部外科(第2外科) 〒807-8556 福岡県北九州市八幡西区医生ヶ丘1-1
TEL：(093)603-1611 / FAX：(093)692-4004 E-mail：j-2geka@mbox.med.uoeh-u.ac.jp
HP：<http://www.kitakyushu-gan.jp/>